

《令和3年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果について》

①実施日 令和3年5月11日（火）

②実施学年 4～6年 個人の伸びを追跡し、児童一人一人の学力を確実に伸ばしていくことがこの調査の大きな目的です。中学入学後も3年間継続して行われます。

③実施教科 国語・算数

④調査の結果については下記のとおり（％は平均正答率を表しています）

学年	4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
埼玉県	58.0%	69.9%	56.7%	61.6%	58.6%	60.9%
狭山市	56.3%	67.7%	54.8%	59.6%	57.7%	60.7%
本校	57.1%	67.9%	56.6%	59.7%	62.5%	62.6%
県平均との差（R3）	-0.9%	-2.0%	-0.1%	-1.9%	+3.9%	+1.7%
学力のレベル	1～12の段階に分け、それぞれのレベルを更にA、B、Cに3分割して表す。 最上層は12-A。小4は1～7、小5は2～8、小6は3～9の範囲の中で表される。					
R3年度（県）	6-A	5-A	6-A	6-B	7-B	7-C
R3年度（本校）	6-A	5-B	6-A	6-C	7-A	7-C
R2年度（本校）	—	—	6-A	5-C	7-C	6-B
1年間の伸び	—	—	±0	+3	+2	+2

本校の今年度の学力のレベルは、狭山市の平均値と比較するとすべての学年・教科で平均を上回る結果となりました。また、埼玉県の平均値と比較すると、4年生、5年生はやや下回るがほぼ同等。6年生は各教科で上回りました。学力の伸びを見ると、概ね県の伸びと同等の結果となり、順調に学力を身に付けていることがわかりました。（5年生は、昨年度の国語の平均値が高かったため、伸びが±0ですが、現在の学力レベルは県の平均と同等です。）

東小の解答結果から分析すると、各学年、次のような強味、弱みがみられました。

4年生	国語	強み	・目的に沿って適切な方法で文章に書き表すこと
		弱み	・語句の意味を理解し、その語句の同義語や対義語を理解すること
	算数	強み	・二次元の表を完成させ、その特徴を読み取ること ・棒グラフに表すこと
		弱み	・小数と分数を数直線の上に表すこと ・円の中心と半径について理解すること
5年生	国語	強み	・熟語の意味、類義語を理解すること ・ことわざ、慣用語を理解すること
		弱み	・目的に応じて理由を挙げながら自分の考えを書くこと（無回答も多い）
	算数	強み	・わり算（除法）の計算をすること ・大きな数の理解（億）
		弱み	・図形の理解（特に、台形、ひし形） ・折れ線グラフの読み取り ・資料の読み取り
6年生	国語	強み	・文章内容を理解し、必要事項を書きぬいたり読み取ったりすること
		弱み	・文脈に即した漢字の読みと活用 ・発言の意図を明確にして話し合うこと
	算数	強み	・最大公約数、最小公倍数の理解 ・割合の求め方の理解
		弱み	・平均の意味の理解と計算 ・単位量当たりの計算 ・四角形の外角を求める計算

学校全体の課題として、無回答がやや多いことが挙げられます。また、無回答の問題は、調査問題の終盤に多く、時間内に終わらない児童が多かったと考えられます。問題をスムーズに読み進め、要旨を素早くとらえる力を高めていくことが大切であると感じます。学校では、毎週水曜日の朝に読書タイムを設け、活字を読む習慣作りを行っています。また、日々の学習での音読指導、家庭での音読の宿題など、読む活動を多くの場面で取り入れながら指導を行っています。

ご家庭におかれましては、学力学習状況調査の個人結果をご確認いただき、お子様の学習状況を把握していただければ幸いです。尚、問題につきましては、公表されません。（返却もありません）類似問題につきましては、埼玉県学力学習状況調査「復習シート」を参考にご活用ください。



《令和3年度 全国学力・学習状況調査 結果について》

①実施日 令和3年5月27日（木）

②実施学年 6年

③実施教科 国語・算数

④調査の結果については下記のとおり（％は平均正答率を表しています）

教科	国語	算数
全国（公立学校）	64.7%	70.2%
埼玉県	65.0%	69.0%
狭山市	64.0%	69.0%
本校	66.0%	73.0%
全国平均との差	+ 1.3%	+ 2.8%

今年度の問題の特徴は、長い文章の中から問題解決に必要な情報を取り出し、その情報を使って解いていく問題が多くありました。これは、現代の情報化社会の中で溢れる情報量の中から、自分に必要なものを取捨選択しながら生きていく力が求められているためだと考えられます。

本校の結果を全国平均と比べていくと、国語、算数ともに平均を超える良い結果となりました。しかし、課題も見られました。分析していくと、第1の課題として全国と比べて問題終盤に無回答の児童が多く見られました。これは、埼玉県学力学習状況調査にも共通した課題ですが、問題を解く力は備えているのに最後までたどり着かない児童が多いということです。

各教科の課題については次の通りです。

国語 ⇒ 文の中における修飾と被修飾との関係を捉える問題

算数 ⇒ 速さを求める問題と平行四辺形の面積の求め方を記述する問題

また、質問紙調査について、全69項目の中から、9項目を抜粋して、「あてはまる、どちらかといえばあてはまる」と回答した児童の割合をお知らせします。

	学校	埼玉県	全国
1 朝食を毎日食べている	91.8%	95.5%	94.9%
2 自分にはよいところがある	82.7%	78.0%	76.9%
3 学校に行くのが楽しい	87.7%	83.2%	83.4%
4 家で、自分で計画を立てて勉強をしている	76.5%	76.1%	74.0%
5 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	41.8%	51.8%	52.4%
6 国語の勉強は好きだ	58.2%	57.9%	58.4%
7 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	93.9%	91.6%	91.8%
8 算数の勉強は好きだ	70.4%	66.8%	67.8%
9 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	95.9%	92.4%	92.6%

本校の特徴として、自分には良いところがあると解答している児童が多いことが分かりました。これは、自己肯定感の高い児童が多いということを表しています。これからも家庭、学校ともに子どもたちを認め励ましながらか良さを伸ばしていくことが大切です。課題として、朝食を毎日食べている児童の割合が全国と比べてやや低い傾向にある点です。朝ご飯、一日の学校生活を支える活力です。できる限り、朝食を食べて登校できるように、ご家庭のご協力をお願いいたします。